理研会報

発行
印教連理科研究部
事務局
成田市幸町948の1
成田小学校内

印教連指定 理科研究学校特集

昨年度、今年度と栄町立北辺田小学校が指定を受け、研究にはげんでおられます。十月には公開の予定です。皆さん、ぜひご参加ください。

水と緑のなかの理科研究

栄町立北辺田小学校

。北辺田小をご存知ですか

房総風土記の丘と、坂東太郎のもとに一面にひらけた水田地帯のほぼ中央、緑につつまれた立校の中に、鉄筋二階のスマートな姿をみせています。

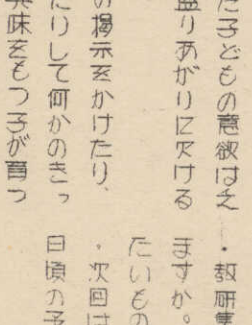
今、栄町は、三万人の町づくりのまっただなかですが、ここ北辺田小は、別天地のような静かな環境の中で、児童一四八名、職員一〇名のこじんまりとした学校全体が一家族のような雰囲気につつまれた中で、おだやかなたたずまいをみせています。

この間、数多くの授業研究とともに、毎週かかさず一回の研修をつみあけてきました。

こうしたなかで、やはり子どもが自然に親しみ、自然の中から、問題をみつけ、

「なぜだろう」
「調べてみたい」

という意欲を持つことが、第一であろうということから、次のような「主題」を設定し、取り組んでいくようにしました。



。指定を受けて

佐倉市立根郷小につづいて、印教連の指定を受け、文字通り一からの出発でありましたが、関係各方面からの援助と努力により、どうやら一年と六ヵ月が経過しました。

研究主題

ひとりひとりが問題をもち 喜んで、理科学習にとりくむ にはどうしたらよいか。

あゆみ（その1）

研究グループ

小規模、しかも、単学級のため研究となると手うすですので、

一、二、三年を「低」
四、五、六年を「高」

と二つのグループで、次のようなねらいのもとに実践してきました。

【低学年】

「不思議だ」「調べてみたい」という意欲を持ちつづけながら、活動するにはどうしたらよいか。

メンバー

一年　成田　必志　主任
二年　海老原敏子
三年　大三川純子　成田

【高学年】

「おかしい」「へんだぞ」という疑問をもち、意欲的に取り組むための指導は、どうしたらよいか。

メンバー

四年　土井　礼子
五年　飯塚千恵子　主任
六年　山岸　文雄

あゆみ（その2）

。理科がすきだ

本来、子どもは理科がすきなはずです。特に観察・実験などの操作を好みます。

しかし、いくら自然に恵まれていても、ただちに問題に気づいたり、予告を感じたり、疑問をもったりするとは言えません。

普段の学習活動の中で、常に五感に訴え、調べ、たしかめる手だてがあって、始めて喜びが生まれてくるものと思います。

準備に、事前研究に時間をかけそれを学習する子どもの目の輝きに結びつけていくことを常に心がけてきました。

。環境づくりと

子どもの意欲

こうした歩みをつづけてきましたが、まだまだ子どもの意欲はそしく、授業の盛りあがりに欠けるのが現状です。

校内に多くの掲示をかけたり、一鉢運動をしたりして何かのきっかけで自然に興味をもつ子が育つことを願って、今、動きかける環境作りをしています。

研究のお手伝いをして

栄町立安食小学校長　笠井卓夫

昨年六月から、何回か北辺田小学校へお伺いして、運営委員としてお手伝いさせていただいております。その印象、感想などを述べてみます。

「北辺田小学校へは、どのように行ったらよいのですか」初めて学校訪問する委員に聞かれました。〃安食の町並をはずれて、利根川堤から、見渡すかぎりの田園の中の道を通き、学区に入り、小高い丘の上の学校に入る。〃車の後ろからついてきた委員は、鉄筋二階建て、赤い屋根の校舎を見て「おときの国の学校みたいですね」とおどろきました。

子どもたちの教室での勉強は、のおとなしく、まじめそのものです。各学年、単学級で、二〇～三〇名

講師、運営委員　ご紹介

講師　斉藤　実指導主事
運営委員長　笠井卓夫（安食小）
運営委員　濱貫博志（56年度）（県教育庁）
〃　〃　五味　健（安食小）
〃　〃　石井　望（弥富小）
〃　〃　吉井恒芳（成田小）

（文　山岸文雄）

公開研究会

10月22日

先生方には、日頃の研究の成果をお示しくださいますようお願いいたします。

◇あとがき◇

・北辺田小学校の特集をしました。授業のあちこちで、キラッと輝く姿がみられることでしょう。

・天候が不順の夏がすぎようとしています。秋が着実にかんできています。秋の学習の準備はよろしいでしょうか。木の実や葉、動物などお心がけておいて下さい。

・教研集会の準備はすすんでおりますか。すばらしい教研集会にしたいものです。

・次回は教研集会特集です。十五日頃の予定です。